

第 14 回 EMR/ESD 研究会

【事務局】

東京医科大学 消化器内科

事務局長 鈴木 翔

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

【運営事務局】

アクセスブレイン

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-31-5 YUSHIMA3315 ビル 3 階

TEL : 03-3839-5036 FAX : 03-3839-5035

E-mail : emr-esd14@accessbrain.co.jp

第14回 EMR/ESD 研究会

EMR/ESD

—一次世代へ歴史を紡ぐ—

会 期：2014年7月13日（日）

会 場：京王プラザホテル

代表世話人：工藤 進英（昭和大学横浜市北部病院）

当番世話人：後藤田卓志（東京医科大学消化器内科）

ご挨拶

代表世話人の工藤進英先生をはじめ諸先生方のご協力で、このたび第14回EMR/ESD研究会を開催できる運びとなりましたことを大変嬉しく思います。本研究会は、内視鏡治療に従事する医師が全国から集まり、当初はEMRについての議論から始まり、その後にESDも加わり、内視鏡切除術全般について議論してまいりました。本研究会では内視鏡切除術に関して先進的な内容の発表と討議が数多くなされ、近年の内視鏡治療分野の発展に大きく寄与したものと考えられます。さらに近年は腹腔鏡との合同治療についての発表も加わり、本研究会が扱う範囲はさらに広がり、その果たす役割はますます大きくなることと存じます。

内視鏡治療であるEMRとESDは、それぞれ30年以上、15年近くの歴史があります。この歴史を紡ぎ、さらに将来へのbreak throughを期待して、“EMR/ESD一次世代へ歴史を紡ぐ”を今回のメインテーマといたしました。次世代への提案となるような、普遍性、安全性、経済性、外科との垣根を越えた工夫などの新しい試みについて発表いただくことといたしました。

“次世代へ歴史を紡ぐ”ためには、内視鏡医の育成、教育も不可欠な要素です。今回のランチョンおよびアフタヌーンセミナーとミニレクチャーでは、主に教育的な視点からの講演をお願いいたしました。ランチョンセミナーでは、藤城光弘先生から“みんなで考える臨床研究のお作法”のタイトルで、アフタヌーンセミナーでは比企直樹先生から“上部消化管内視鏡におけるミントオイルの有用性～患者さんにやさしい内視鏡をめざして～”のタイトルで講演いただきます。また、ミニレクチャーでは山本博徳先生から“ESDの効率的・効果的な指導”のタイトルでご講演いただきます。

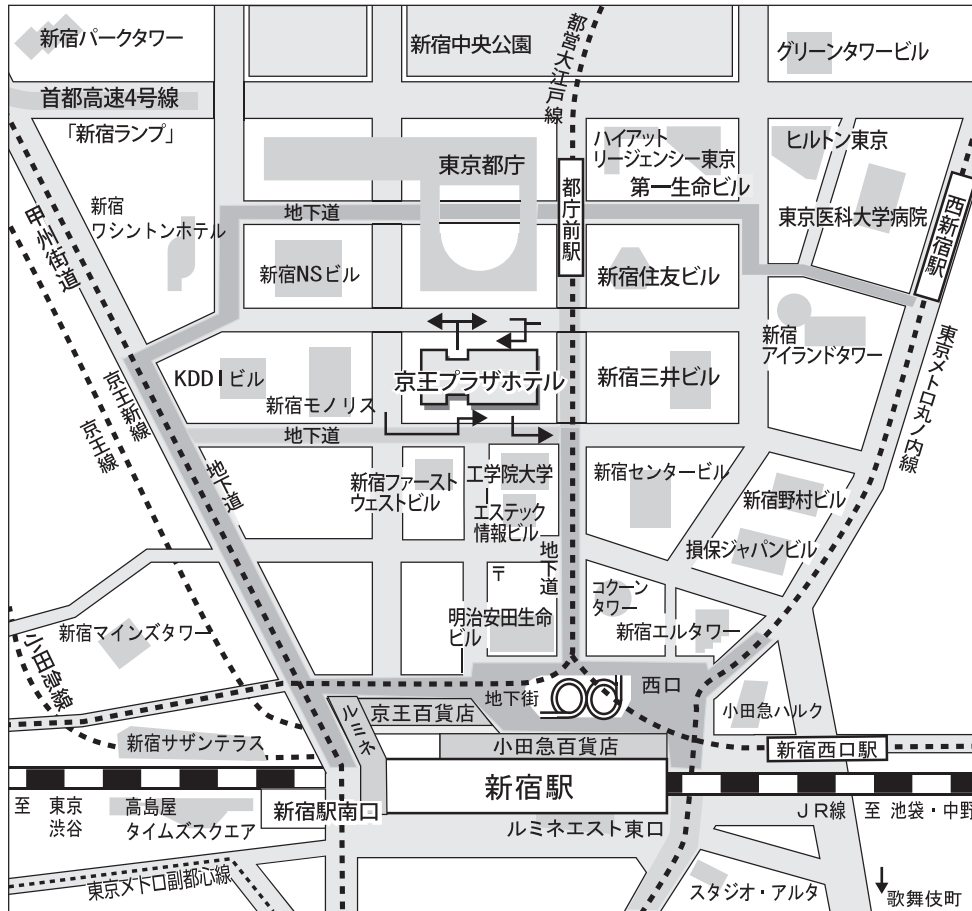
今回も全国の内視鏡治療を先進的に行われている施設から多数の応募をいただきました。このことを大変嬉しく思うと共に、この場をお借りして御礼申し上げます。いずれもの発表も先進的かつ実臨床に沿った内容であり、今後の内視鏡治療の発展および明日からの診療の一助になることを確信しております。

真夏の暑い時期の開催ではございますが、多くの先生方にご参加いただき、熱い議論を交わしていただけることを願っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2014年7月

第14回EMR/ESD研究会
当番世話人 後藤田卓志
事務局長 鈴木 翔
(東京医科大学 消化器内科)

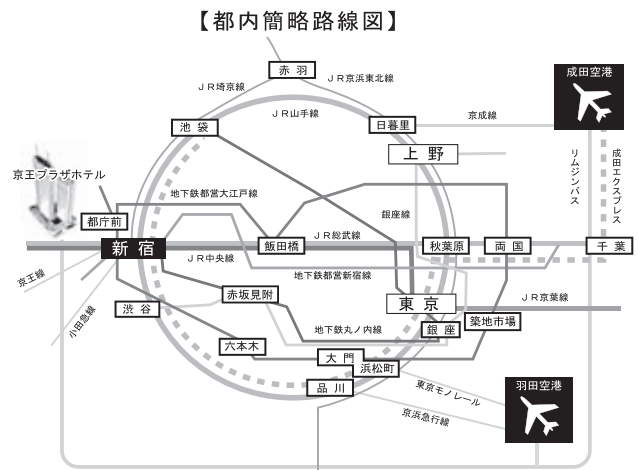
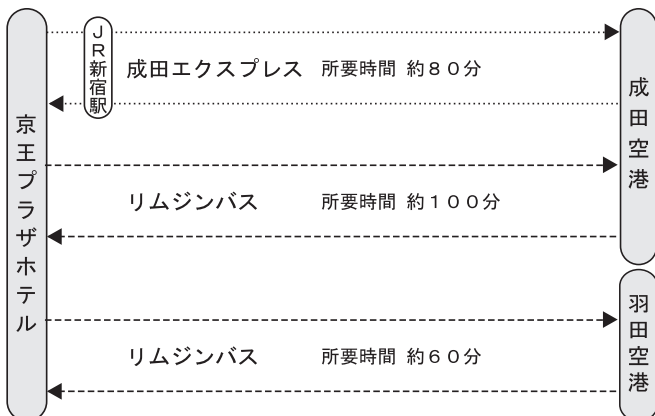
交通案内図



京王プラザホテル

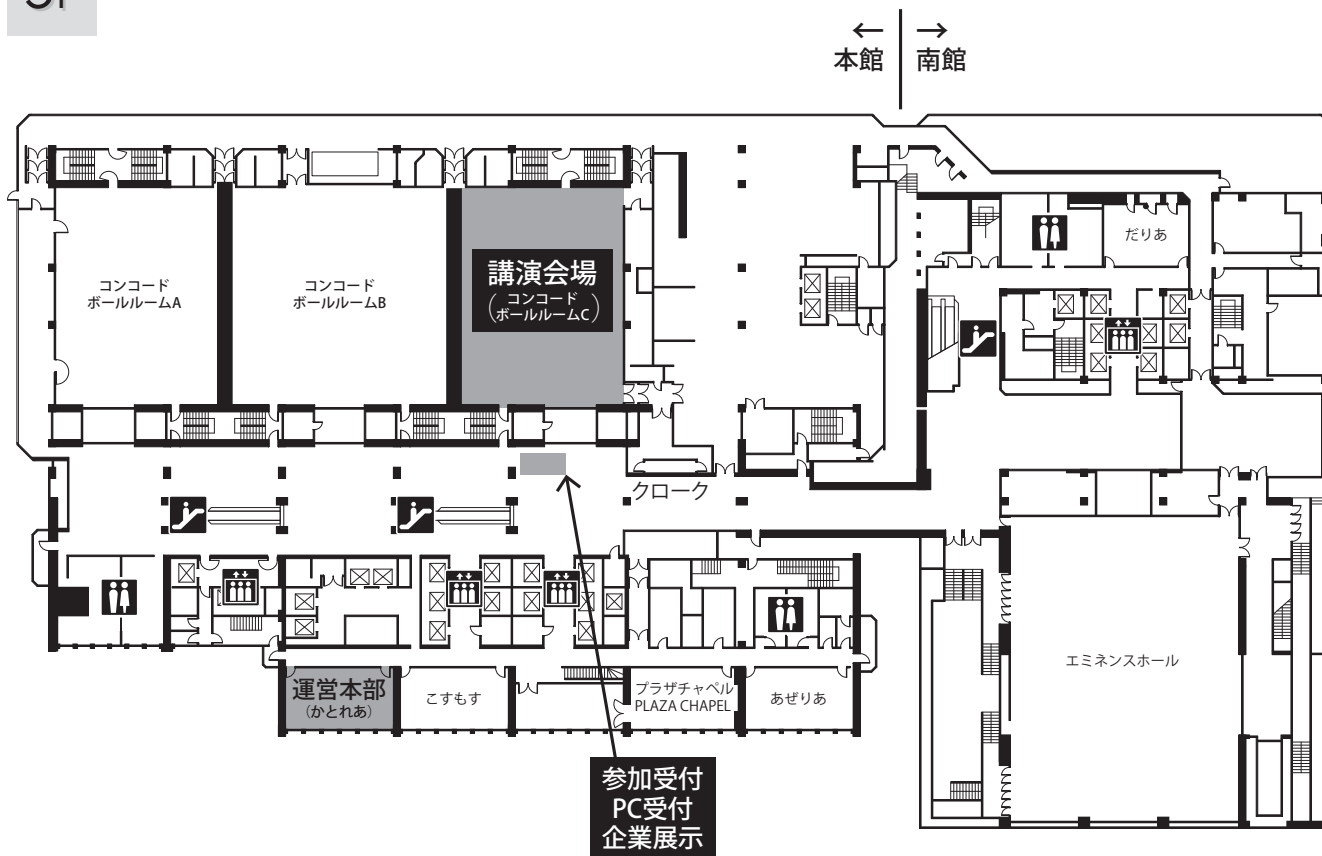
〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1 TEL. 03-3344-0111(大代表)

- 新宿駅西口より徒歩
約5分（JR・京王線・小田急線・地下鉄）
新宿駅西口より都庁方面への連絡地下道を
まっすぐ5分ほどお進みください。地下道を出て
すぐ左側にホテルがございます。
- 都営大江戸線都庁前駅より徒歩
地下道B1出口よりすぐ
改札を出てJR新宿駅方面に進み、
B1出口階段を上がってすぐ右側に
ホテルがございます。
- リムジンバス 成田空港、羽田空港との直通リムジンバスがございます。



会場案内図

5F



ご参加の皆様へ

- (1) 参加受付は以下の通り行います。

時間 7月13日(日) 8:15~15:30
場所 京王プラザホテル本館5階 コンコードC前
参加費 一般(医師・企業) ¥5,000
研修医・コメディカルスタッフ ¥3,000

- (2) 会場前にて医療機器展示を行います。

ご発表者の皆様へ

- (1) 発表時間

各演題の発表時間は以下のとおりです。

会の円滑な運営のため、発表時間は厳守いただきますようお願いいたします。

- ミニレクチャー：20分(質疑応答時間含む)
- 一般演題：発表5分、質疑応答2分

- (2) 発表セッション開始時刻の30分前までに、会場前に設置するPC受付にて発表データの確認ならびにご提出を行ってください。
- (3) 発表データはUSBフラッシュメモリでご持参いただくか、ご自身のPCをお持ち下さい。
動画を含まれる方やMacintoshをご利用の方は、必ずご自身のPCをご持参下さい。

メディアでお持込みの場合

- ・会場にご用意する発表用のPCはWindows7です。(Vista・XPにも対応)
- ・アプリケーションソフトはWindows Microsoft PowerPoint 2003以降のバージョンに限ります。
- ・フォントは文字化けを防ぐためOS標準のものをご使用ください。
- ・ファイル名は「演題番号_演者名」としてください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ・受付時にコピーした発表データは、終了後事務局で責任を持って消去いたします。

PC本体をお持込みの場合

- ・PC付属のACアダプターを必ずお持ちください。
- ・会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はD-sub15ピンです。変換ケーブルが必要な機種の方はご持参下さい。

第14回 EMR/ESD 研究会 タイムテーブル 2014年7月13日(日)

08:50~09:00	開会挨拶 代表世話人 当番世話人	工藤進英 (昭和大学横浜市北部病院 消化器センター) 後藤田卓志 (東京医科大学 消化器内科)
09:00~10:35	セッション1 司会 コメンテーター	上部消化管に対する EMR/ESD 一次世代への提案 小野裕之 (静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科) 小山恒男 (佐久医療センター 内視鏡内科) 島田英雄 (東海大学医学部附属大磯病院 外科)
休憩		
10:50~11:55	セッション2 司会 コメンテーター	下部消化管に対する EMR/ESD 一次世代への提案 田中信治 (広島大学 内視鏡診療科) 斎藤豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科) 福澤誠克 (東京医科大学病院 内視鏡センター)
休憩		
12:10~13:00	ランチョンセミナー 「みんなで考える臨床研究のお作法 ～Digestive Endoscopy DEIC の経験から～」 司会 演者	上西紀夫 (公立昭和病院) 藤城光弘 (東京大学医学部附属病院 光学医療診療部)
休憩		
13:30~13:50	ミニレクチャー 「ESD の効率的・効果的な指導」 司会 演者	吉田茂昭 (青森県立中央病院) 山本博徳 (自治医科大学 消化器内科)
休憩		
14:00~14:40	アフタヌーンセミナー 「上部消化管内視鏡におけるミントオイルの有用性 ～患者さんにやさしい内視鏡をめざして～」 司会 演者	鈴木博昭 (東京慈恵会医科大学 客員教授) 比企直樹 (がん研有明病院 消化器外科)
休憩		
14:50~16:10	セッション3 司会	次世代手技の位置づけと可能性 比企直樹 (がん研有明病院 消化器外科) 矢作直久 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センター)
16:10~	統括発言	峯徹哉 (東海大学医学部 消化器内科)

第 14 回 EMR/ESD 研究会 プログラム

代表世話人：工藤進英（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター）
 当番世話人：後藤田卓志（東京医科大学 消化器内科）

上部消化管に対する EMR/ESD 一次世代への提案

司会：小野裕之（静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科）
 小山恒男（佐久医療センター 内視鏡内科）
 コメンテーター：島田英雄（東海大学医学部附属大磯病院 外科）

1-1 IT knife nano による安全な食道 ESD

○北川善康¹，鈴木拓人²，原太郎²，山口武人¹
 （千葉県がんセンター 消化器内科¹，同 内視鏡科²）

1-2 早期食道癌での Trans-Nasal ESD の有用性～Nanosooter, EG-580NW2 を用いて～

○中村正克，白枝久和，大塚俊美，有沢富康
 （金沢医科大学 消化器内科）

1-3 潰瘍底の周在性別にみた食道 ESD 後狭窄に対するステロイド内服療法の治療成績

○実綿倫宏¹，岡志郎¹，田中信治¹，卜部祐司²，佐野村洋次¹，茶山一彰²
 （広島大学病院 内視鏡診療科¹，同 消化器・代謝内科²）

1-4 食道 ESD 後狭窄に対する治療戦略

○福田浩子¹，山口直之¹，磯本一¹，中尾一彦¹，江口晋¹，金井信雄²，大木岳志²，大和雅之²，
 岡野光夫²
 （長崎大学¹，東京女子医科大学²）

1-5 食道 ESD 後の狭窄予防法 ポリグリコール酸シートとフィブリン糊

○片岡陽佑，坂口賀基，辻陽介，斉藤格，七條智聖，皆月ちひろ，平山慈子，小野敏嗣，
 新美恵子，小田島慎也，山道信毅，藤城光弘，小池和彦
 （東京大学医学部附属病院 消化器内科）

1-6 捕捉溝付きフードを用いた ESD の検討

○山本克己¹，近藤尚²，齊木浩二²，林史郎²，西田勉²，内藤雅文¹，道田知樹³，伊藤敏文¹
 （独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院 消化器内科¹，市立豊中病院 消化器
 内科²，帝京大学ちば総合医療センター 第3内科³）

1-7 僕たちには見えなかった！～ESD における糸（デンタルフロス）付きクリップ牽引法の効果

○鈴木翔¹，後藤田卓志¹，阿部正和¹，八木直子¹，草野央¹，森安史典¹，福澤誠克²，佐藤丈征²，
 河合隆²
 （東京医科大学 消化器内科¹，東京医科大学病院 内視鏡センター²）

1-8 胃 ESD における traction 法の工夫

○吉田尚弘，土山寿志
 （石川県立中央病院 消化器内科）

- 1-9 胃 ESD 後潰瘍への PGA1 枚貼りを目指した New Technique—4Clip-PGA 法—
○中村正克, 白枝久和, 大塚俊美, 有沢富康
(金沢医科大学 消化器内科)
- 1-10 上部消化管 ESD における最適な鎮静法とは
○木村有志, 田沼徳真, 野村昌史, 浦出伸治, 田中一成, 真口宏介
(手稲溪仁会病院 消化器病センター)
- 1-11 ESD 時におけるデクスメドトミジン塩酸塩 (プレセデックス®) を用いた鎮静法の評価
○山内康平, 山口太輔, 坂田資尚, 下田良, 岩切龍一
(佐賀大学医学部 消化器内科・光学医療診療部)
- 1-12 プロポフォールとデクスメドトミジンを併用した Hybrid 鎮静
○山口智裕, 滝本見吾, 松山希一
(医仁会武田総合病院)
- 1-13 Stage II 以上の他臓器進行癌合併早期胃癌に対する ESD 施行例の予後
○吉福良公¹, 岡志郎¹, 田中信治¹, 沼田紀史¹, 実綿倫宏¹, 佐野村洋次¹, 有廣光司³, 茶山一彰²
(広島大学病院 内視鏡診療科¹, 同 消化器・代謝内科², 同 病理診断科³)

セッション 2

10:50~11:55

下部消化管に対する EMR/ESD 一次世代への提案

司会：田中信治 (広島大学 内視鏡診療科)

齋藤豊 (国立がん研究センター中央病院 内視鏡科)

コメンテーター：福澤誠克 (東京医科大学病院 内視鏡センター)

- 2-1 当院における小型大腸ポリープに対する Cold Forceps Polypectomy の検討
○小林真
(市立四日市病院 消化器内科)
- 2-2 大型大腸腫瘍に対するスネア先端刺入法 EMR の有用性
○川上武志, 今井健一郎, 堀田欣一, 川田登, 田中雅樹, 角嶋直美, 滝沢耕平, 松林宏行,
小野裕之
(静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科)
- 2-3 ブタを用いた各消化管に対する Hybrid-ESD における最適なムコアップ® 濃度の検討
○中川裕太, 松本健史, 永原章仁, 田中一平, 松本紘平, 上山浩也, 渡辺純夫
(順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科)
- 2-4 LST-G に対する治療ストラテジー
○二宮悠樹¹, 田中信治¹, 岡志郎¹, 林奈那², 茶山一彰²
(広島大学病院 内視鏡診療科¹, 同 消化器・代謝内科²)
- 2-5 Pocket-creation method (PCM) は剥離困難に陥らない大腸 ESD を実現する
○林芳和, 砂田圭二郎, 山本博徳
(自治医科大学 消化器内科)

2-6 改良したクリップ・スネア・リフティング法による深部大腸 ESD

○山田真也, 辻国広, 吉田尚弘, 竹村健一, 土山寿志
(石川県立中央病院 消化器内科)

2-7 ダブルバルーン内視鏡を用いた大腸 ESD の有用性について

○山川雅史, 平野正明, 熊木大輔, 坂牧僚, 有賀諭生
(新潟県立中央病院 内科)

2-8 プロポフォールにおける大腸 EMR の安全性と有効性の検討

○富永直之^{1,2}, 福澤誠克^{1,2}, 山本健次郎¹, 河野真¹, 鈴木翔¹, 佐藤丈征¹, 八木直子¹, 辻雄一郎¹,
八木健二¹, 草野央¹, 後藤田卓志¹, 森安史典¹
(由利組合総合病院 消化器科¹, 東京医科大学 消化器内科²)

2-9 大腸 ESD における日帰り手術の検討

○桜井達也, 工藤進英, 林武雅, 石垣智之, 矢川祐介, 豊嶋直也, 三澤将史, 森悠一,
工藤豊樹, 若村邦彦, 片桐敦, 宮地英行, 石田文生
(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター)

ランチョンセミナー

12:10~13:00

みんなで考える臨床研究のお作法~Digestive Endoscopy DEIC の経験から~

司会: 上西紀夫 (公立昭和病院)
演者: 藤城光弘 (東京大学医学部附属病院 光学医療診療部)
共催: エーザイ株式会社

ミニレクチャー

13:30~13:50

ESD の効率的・効果的な指導

司会: 吉田茂昭 (青森県立中央病院)
演者: 山本博徳 (自治医科大学 消化器内科)

アフタヌーンセミナー

14:00~14:40

上部消化管内視鏡におけるミントオイルの有用性~患者さんにやさしい内視鏡をめざして~

司会: 鈴木博昭 (東京慈恵会医科大学 客員教授)
演者: 比企直樹 (がん研有明病院 消化器外科)
共催: 日本製薬株式会社
あすか製薬株式会社

次世代手技の位置づけと可能性

司会：比企直樹（がん研有明病院 消化器外科）
矢作直久（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター）

3-1 次世代への伝承 より安全な内視鏡室の設計

○高橋亜紀子，小山恒男，依光展和
（佐久医療センター 内視鏡内科）

3-2 新内視鏡センターにおける全日治療体制の導入

○平田寿賀子，小田一郎，鈴木晴久，阿部清一郎，松本美野里，野中哲，坂本琢，大竹陽介，
吉永繁高，中島健，角川康夫，松田尚久，斎藤豊
（国立がん研究センター中央病院 内視鏡科）

3-3 抗血小板薬内服継続下 ESD の治療成績（休薬群，非内服群との比較も含めて）—PGA フェルト＋フィブリン糊被覆法を用いた新たな後出血予防対策—

○山口直之，福田浩子，磯本一，宿輪三郎，中尾一彦
（長崎大学病院）

3-4 ネオベールを用いた被覆法の応用および可能性について—筋層浅層剥離、瘻孔閉鎖—

○滝本見吾，山口智裕，松山希一
（武田総合病院 消化器センター）

3-5 Smart shooter を用いた新たな内視鏡治療

○菊池大輔，飯塚敏郎，山田晃弘，栗林泰隆，野村浩介，木村隆輔，山下聡，古畑司，松井啓，
三谷年史，小川修，布袋屋修，貝瀬満
（虎の門病院 消化器内科）

3-6 十二指腸カルチノイド治療における LECS の有用性

○青柳裕之¹，伊部直之¹，赤澤悠¹，斉藤恭志¹，藤永晴夫¹，林宣明¹，波佐谷兼慶¹，辰巳靖¹，
奥田俊之²，宮永太門²，海崎泰治³
（福井県立病院 消化器内科¹，同 外科²，同 臨床病理科³）

3-7 十二指腸腫瘍に対する Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery (LECS) の現状

○池原久朝¹，岡田敏弘²，鈴木和夫²，裴正寛²，小川智広¹，豊島史彦¹，河野友彰¹，應田義雄¹，
富田寿彦¹，大島忠之¹，福井広一¹，渡二郎¹，藤元治朗²，三輪洋人¹
（兵庫医科大学病院 内科学消化管科¹，同 肝胆膵外科²）

3-8 T1b 食道胃接合部癌に対し内視鏡と腹腔鏡を併用し切除した 1 例

○松尾康正¹，前畑忠輝¹，安田宏¹，伊東文生¹，榎本武治²，福永哲²，大坪毅人²
（聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科¹，同 消化器・一般外科²）

3-9 当院における胃腫瘍性病変に対する腹腔鏡・内視鏡合同胃切除（LECS）の治療成績

○松田達雄，比企直樹，布部創也，大橋学，佐野武，山口俊晴
（がん研有明病院消化器センター 消化器外科）

3-10 胃粘膜下腫瘍の LECS における内視鏡処置時間に影響する因子の検討

○富田英臣¹, 山本頼正¹, 谷口智香¹, 清水智樹¹, 宮本勇治¹, 森重健二郎¹, 堀内裕介¹,
大前雅実¹, 石山晃世志¹, 由雄敏之¹, 平澤俊明¹, 土田知宏¹, 藤崎順子¹, 五十嵐正広¹,
布部創也², 比企直樹²

(がん研有明病院 消化器内科¹, 同 消化器外科²)

3-11 NEWS による新しい胃がん内視鏡治療の可能性

○後藤修¹, 竹内裕也², 川久保博文², 鮑本哲兵¹, 木下聡¹, 相良誠二¹, 藤本愛¹, 落合康利¹,
西澤俊宏¹, 浦岡俊夫¹, 北川雄光², 矢作直久¹

(慶應義塾大学医学部 腫瘍センター¹, 同 一般・消化器外科²)

統括発言

16 : 10~

峯徹哉 (東海大学医学部 消化器内科)